

## ■ 土壌・堆肥・作物分析・診断の単価表

(平成 29 年 11 月現在)

土壌分析、堆肥分析、作物品質分析の 1 サンプル当たりの単価 (消費税込) は以下のとおりです。単価の中には解析・診断費も含まれております。診断項目の拡充は緑字で記しています。

サンプルの送料は依頼者負担となります。また、土壌の化学性分析用サンプルは風乾し、2 mm のふるいを通したものをお送り下さい。生土の場合は調整料金として 1 検体 1,080 円を頂戴します。

土壌の化学性分析結果の解析・診断のみの依頼の場合は、土壌サンプリングや分析を行う前に当協会と協議していただく必要がありますので、予めご連絡下さい。

現地打ち合わせ、調査等が必要な場合の旅費等は依頼者負担となります。

### 1. 土壌分析・診断

化学性分析・診断			
分析の種類	単 価	分析等項目	
一般分析	9,256 円	pH CEC リン酸吸収係数 腐植含量 EC	交換性石灰 有効態ケイ酸 ( 水稻のみ ) 遊離酸化鉄 ( 水稻のみ ) この他、診断基準項目として
水田土壌の分析の場合	9,796 円	アンモニア態窒素 硝酸態窒素 有効態リン酸 交換性加里 交換性苦土	加里飽和度 苦土飽和度 石灰飽和度 塩基飽和度 苦土・加里比 石灰・苦土比
フォローアップ分析	7,200 円	pH EC CEC 有効態リン酸 交換性加里 交換性苦土 交換性石灰	この他、診断基準項目として 加里飽和度 苦土飽和度 石灰飽和度 塩基飽和度 苦土・加里比 石灰・苦土比
微量元素分析	3,600 円	交換性マンガン 水溶性ホウ素 可給態鉄	交換性亜鉛 可溶性銅
	4,860 円		可溶性モリブデン ( 硝酸還元酵素の構成要素 )
	2,430 円		交換性ニッケル ( 尿素をアンモニアと二酸化炭素に加水分解するウレアーゼの構成要素 )
全項目分析	12,343 円	仮比重 + 全窒素 + 全炭素 + 微量元素 + 一般分析	
水田土壌の分析の場合	12,883 円		
可給態窒素分析	5,000 円	保温静置法 ( 30 ・ 4 週間培養 )	
	2,500 円	リン酸緩衝液抽出法 ( 簡易測定法 )	
	3,000 円	熱水抽出法 ( 簡易測定法 )	

生物性分析・診断		
分析の種類	単 価	分析等項目
土壌有害線虫分析	8,230 円	ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ、シストセンチュウ、ラセンセンチュウ
土壌微生物分析 根こぶ病菌を加える場合	8,230 円 8,770 円 4,050 円 8,100 円	ナス科栽培土壌については青枯病菌 アブラナ科栽培土壌については根こぶ病菌 この他、糸状菌、放線菌、細菌、フザリウム菌、色素（ローズベンガル）耐性菌 バチルス属細菌（有害微生物の繁殖抑制等の作用を持つ） 光合成細菌（水田で窒素固定、硫化水素等を減らすなど有益な作用を持つ）
土壌病原菌の特定（PCR 法）	19,400 円	イチゴ炭そ病菌・萎黄病菌、キュウリホモブシス根腐れ病菌、アスパラガス立枯れ病菌、ジャガイモそうか病菌、ピシウム菌（多くの野菜類に根腐れ病、立枯病を起こす）、果樹白紋羽病菌等 その他についても可能なものがありますので、ご相談下さい。
土壌中の衛生細菌分析	11,314 円	大腸菌群、大腸菌、サルモネラ菌、黄色ブドウ球菌、セレウス菌、リステリア菌
土壌、堆肥、ぼかし肥料、微生物資材の病原抑止力測定	8,230 円	フザリウム菌の菌糸伸長域で資材の病原抑止力の相違を評価
土壌微生物多様性分析	30,856 円 32,400 円	バイオログプレート法（微生物による様々な炭素源の利用程度の多様性を解明） 次世代シーケンサー法（当面研究用として、DNA の塩基配列から微生物の種類と割合、多様性等に関するデータを提供）

物理性測定・診断		
分析の種類	単 価	備 考
三相分布と仮比重	18,514 円	6 管（1 ケース）当たり（6 個のサンプルの測定データになります） 採土管の送料は依頼者負担
土壌硬度	2,057 円	1 地点当たり（穴を掘り土壌断面の深さ別測定）
土壌の種類と土性 土性判定（採取地点周辺地域の土壌図提供）	5,400 円	土壌試料（表層(作土)、次表層）の触感から土性(5 段階)を判定。土壌図から採取地点の土壌の種類を推定、採取地点周辺地域の土壌図のカラーコピーを提供
土壌の種類と土性判定（採取地点周辺地域の土壌図提供）	14,470 円	上記に加えて、表層(作土)と次表層についてリン酸吸収係数から黒ボク土とそれ以外を判別、また、腐植含量から多腐植質黒ボク土、淡色黒ボク土など土壌の種類を特定

## 2. 堆肥分析・診断

分析の種類	単 価	分析等項目
堆肥の分析	7,200 円 4,860 円	水分、pH、電気伝導度（EC）、全炭素、全窒素、C/N 比、全リン酸、全カリウム、全カルシウム、全マグネシウム 全銅、全亜鉛
堆肥の腐熟度測定 〔発芽率〕	10,800 円	熱水抽出法による幼植物検定（コマツナ） 発芽率と関係深い pH、EC 測定
堆肥中の衛生細菌分析	11,314 円	大腸菌群、大腸菌、サルモネラ菌、黄色ブドウ球菌、セレウス菌、リステリア菌
堆肥微生物性分析	8,230 円 4,050 円 8,100 円	糸状菌、放線菌、細菌、嫌気性菌、色素（ローズベンガル）耐性菌 バチルス属細菌 光合成細菌
堆肥等微生物多様性分析	25,715 円 32,400 円	バイオログプレート法 次世代シーケンサー法（当面研究用）
窒素化合物の分画分析	16,200 円	堆肥等の分画分析から窒素肥効の速さを推定
有機質肥料の 窒素無機化率測定	32,400 円	有機質肥料の培養試験（30 ・ 30 日間）から窒素無機化率を測定 培養日数についてはご相談下さい。

## 3. 作物品質分析・診断

分析の種類	単 価	分析等項目
作物品質分析	8,230 円	糖度（ブリックス） ビタミン C（紫外線吸収法） 硝酸態窒素（比色法）
オプションで カロチン（液体クロマトグラフィー）（1 点当たり 5,657 円）		
コメの外観・品質分析 籾の場合	8,320 円	外観（整粒、未熟粒、被害粒、死米、着色粒、胴割粒の比率）および品質分析（水分、タンパク質、アミロース、食味値）
玄米の場合	7,560 円	

## 4. その他、効果栽培試験

試験の種類	単 価	分析等項目
植物病害抑制効果試験	75,600 円	ホウレンソウ萎凋病またはアブラナ科根こぶ病

### お問合せ（一般財団法人 日本土壌協会）

● 土壌診断を依頼する方は予め、お問合せフォームかメールでご連絡下さい。

お問合せフォーム：<http://japan-soil.info/sds/> E-mail：[mail@japan-soil.net](mailto:mail@japan-soil.net)

- 1 サンプル当たりの単価は、協会の土壌・堆肥・作物分析・診断の単価表をご覧ください。
- 単価表に記載されていない分析・診断についても対応可能なものがありますので、ご相談下さい。
- 化学分析の解析・診断のみの場合はご要望の内容により料金が異なりますので、ご相談下さい。
- 現地調査や説明会に要する旅費等は別料金となります。
- 産地土壌診断の料金については規模、内容によって異なりますので、ご相談下さい。